



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 長谷川 吉弘
 (氏名) 金城 照夫
 TEL 06-6201-2461

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	17,261	△5.6	883	△3.6	802	31.7	621	77.7
29年3月期第1四半期	18,283	△11.8	916	100.1	609	△55.2	349	△58.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 549百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △241百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	23.96	—
29年3月期第1四半期	13.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	69,604	34,123	46.0
29年3月期	67,352	33,813	47.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 31,985百万円 29年3月期 31,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,500	3.6	1,700	△15.3	1,800	7.5	1,100	△2.0	42.39
通期	77,500	8.6	4,000	0.6	4,200	6.8	2,600	7.4	100.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	26,080,396 株	29年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	132,049 株	29年3月期	132,049 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	25,948,347 株	29年3月期1Q	25,948,514 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
参考資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は回復が続き、欧州の景気は緩やかに回復しました。中国の景気は、各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きがみられました。

一方、日本経済は、雇用、企業収益が改善し、設備投資も持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調が続きました。

このような中、当社グループは前期よりスタートしました、3ヵ年の中期経営計画『NEW HARIMA 2018』の2年目に入り、更なる事業の成長に取り組んでいます。

当社グループの56.0%を占める海外事業は、欧米を主力市場とするローター社の売上高は、原材料価格の下落による販売価格の修正、競合他社との販売競争による販売数量減があり、前年同四半期に比べ減少しました。しかしながら、コスト削減等により、利益は増加しました。

国内事業は、売上高は前年同四半期並みとなったものの、利益面では前年同四半期に比べ減少しました。

その結果、当社の当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は172億6千1百万円となり、前年同四半期に比べ10億2千1百万円(△5.6%)の減収となりました。

利益面では、営業利益は8億8千3百万円となり、前年同四半期に比べ3千2百万円(△3.6%)の減益となりました。経常利益は8億2百万円となり、前年同四半期に比べ1億9千3百万円(31.7%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億2千1百万円となり、前年同四半期に比べ2億7千1百万円(77.7%)の増益となりました。

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

①樹脂化成品

印刷インキ業界、塗料業界の生産量は前年同四半期並みとなりました。

当部門におきましては、塗料用樹脂は、建築・外装用塗料向けが堅調に推移し、前年同四半期に比べ売上高は増加しましたが、雑誌やチラシなどの商業印刷の減少および新聞発行部数の減少により印刷インキ用樹脂は、前年同四半期に比べ売上高が減少しました。

その結果、当部門の売上高は、46億1百万円となり、前年同四半期に比べ1億8百万円(△2.3%)の減収となりました。当部門の営業利益は1億5千3百万円と前年同四半期に比べ5百万円(4.0%)の増益となりました。

②製紙用薬品

国内の製紙業界は、板紙の生産量が前年同四半期に比べ増加しましたが、印刷情報用紙は減少しました。当部門の海外事業は、米国、中国を主な市場にしていますが、米国では、新聞、印刷情報用紙の需要減少が続いており、紙・板紙生産量は、前年同四半期に比べ減少しました。一方、中国の紙・板紙生産量は、増加しました。

当部門におきましては、国内の売上高は前年同期に比べ増加しましたが、需要減少の影響を受け、海外の売上高は、米国、中国ともに、前年同四半期に比べ減少しました。

その結果、当部門の売上高は、38億7千9百万円となり、前年同四半期に比べ2億1千6百万円(△5.3%)の減収となりました。また、当部門の営業利益は、2億5千4百万円と前年同四半期に比べ1億5千7百万円(△38.3%)の減益となりました。

③電子材料

当部門が主に関連する自動車業界の生産台数は、北米は前年同四半期に比べ減少したものの、国内、欧州、中国は増加となりました。

当部門におきましては、ソルダペーストの売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、自動車熱交換器用のろう付け材料などの販売が増加し、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は、12億9千7百万円となり、前年同四半期に比べ9千8百万円(8.2%)の増収となりました。当部門の営業利益は5千9百万円と前年同四半期に比べ1千9百万円(49.4%)の増益となりました。

④ローター

当部門の主要製品である粘接着剤用樹脂は、北米およびオセアニアでは、低調に推移しましたが、欧州、南米ならびにアジアでは、堅調に推移したことで、前年同四半期に比べ販売数量が増加しました。

一方、印刷インキ用樹脂は、情報のデジタル化を背景として世界的に需要が低迷して、主力である欧州では、主原料であるトルロジンを安定的に調達できている一方で、製品の販売価格競争も激化しており、販売数量は低調に推移しました。北米は好調に推移しましたが、販売数量は前年同四半期に比べ減少しました。

当部門全体では、主原料であるロジン価格の世界的な下落に伴い製品販売価格が低下したことにより、売上高は、前年同四半期に比べ減少しましたが、利益面では、引き続き、合理化、コスト削減効果が寄与し、前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は、70億3千5百万円で、前年同四半期に比べ7億4千5百万円(△9.6%)の減収となりました。当部門の営業利益は4億7千万円と前年同四半期に比べ2億1千9百万円(87.6%)の増益となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前期末に比べ22億5千2百万円の増加となりました。自己資本比率は46.0%となりました。増減の主なもの、流動資産では現金及び預金が10億9千5百万円増加したものの、売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が3億1千2百万円減少し、原材料及び貯蔵品が5億1千3百万円増加しました。負債では短期借入金72億6千5百万円増加し、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)は返済及び為替の影響により54億5千7百万円減少しました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、緩やかながらも回復すると見込まれますが、米国の金融政策正常化の影響、中国を始めアジア新興国の経済の動向、政策に関する影響など、先行きが不透明な状況が続いています。日本経済においては、所得や雇用の改善により緩やかな回復傾向にあるものの、当社グループにおきましては、為替変動などによる不透明な事業環境が続くことが見込まれます。

当社グループは2016年度を初年度とする中期経営計画『NEW HARIMA 2018』の目標である2018年度の売上高1,000億円、営業利益60億円、ROE(自己資本当期純利益率)8.0%の達成に向けた重点施策を引き続き推進してまいります。

2017年度は、グローバルに展開する拠点網を活かした新製品の展開加速、事業規模の拡大と新技術の獲得、品質面および価格面での競争力向上などに取り組みます。

なお、当期(2017年4月1日から2018年3月31日)の通期の業績予想につきましては、2017年5月1日の決算発表時の公表数字を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,113,069	5,208,219
受取手形及び売掛金	17,931,234	17,618,579
商品及び製品	5,379,840	5,378,199
原材料及び貯蔵品	5,589,978	6,103,368
その他	2,213,208	3,336,944
貸倒引当金	△108,835	△96,774
流動資産合計	35,118,496	37,548,537
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,390,910	9,236,322
その他(純額)	13,420,430	13,118,455
有形固定資産合計	22,811,341	22,354,778
無形固定資産		
その他	931,497	947,351
無形固定資産合計	931,497	947,351
投資その他の資産		
投資有価証券	7,206,578	7,456,633
その他	1,287,889	1,300,773
貸倒引当金	△3,219	△3,219
投資その他の資産合計	8,491,249	8,754,188
固定資産合計	32,234,088	32,056,318
資産合計	67,352,585	69,604,855

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,348,049	8,617,660
短期借入金	4,759,030	12,024,910
1年内返済予定の長期借入金	632,980	968,490
未払法人税等	463,801	430,317
役員賞与引当金	76,910	99,450
その他	3,274,673	3,474,928
流動負債合計	17,555,443	25,615,758
固定負債		
長期借入金	10,484,228	4,690,956
長期預り保証金	741,081	741,081
役員退職慰労引当金	404,576	401,816
退職給付に係る負債	1,028,221	962,402
資産除去債務	48,294	48,371
その他	3,277,688	3,020,500
固定負債合計	15,984,090	9,865,128
負債合計	33,539,534	35,480,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,743,959	9,743,959
利益剰余金	11,366,324	11,754,431
自己株式	△62,436	△62,436
株主資本合計	31,060,799	31,448,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,735,420	1,969,442
為替換算調整勘定	△971,716	△1,263,266
退職給付に係る調整累計額	△175,949	△169,520
その他の包括利益累計額合計	587,754	536,656
非支配株主持分	2,164,497	2,138,406
純資産合計	33,813,050	34,123,968
負債純資産合計	67,352,585	69,604,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)
売上高	18,283,957	17,261,974
売上原価	14,049,409	13,132,691
売上総利益	4,234,548	4,129,283
販売費及び一般管理費	3,318,426	3,245,950
営業利益	916,122	883,332
営業外収益		
受取利息	11,710	8,428
受取配当金	35,345	37,929
不動産賃貸料	28,593	28,735
その他	58,592	72,272
営業外収益合計	134,241	147,365
営業外費用		
支払利息	47,903	71,220
為替差損	373,484	117,831
その他	19,384	39,001
営業外費用合計	440,772	228,053
経常利益	609,591	802,644
税金等調整前四半期純利益	609,591	802,644
法人税、住民税及び事業税	298,191	210,620
法人税等調整額	△106,313	△55,312
法人税等合計	191,877	155,308
四半期純利益	417,714	647,336
非支配株主に帰属する四半期純利益	67,948	25,694
親会社株主に帰属する四半期純利益	349,766	621,641

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	417,714	647,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,644	234,019
為替換算調整勘定	△633,960	△338,836
退職給付に係る調整額	14,383	6,590
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	2
その他の包括利益合計	△659,243	△98,223
四半期包括利益	△241,529	549,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△211,715	570,543
非支配株主に係る四半期包括利益	△29,813	△21,430

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	4,710,125	4,095,837	1,198,838	7,780,667	17,785,467	450,647	18,236,114	47,843	18,283,957
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	67,528	76,815	—	38,198	182,541	33,021	215,562	△215,562	—
計	4,777,653	4,172,652	1,198,838	7,818,865	17,968,009	483,668	18,451,677	△167,719	18,283,957
セグメント利益	147,348	412,230	40,080	250,859	850,518	7,069	857,588	58,533	916,122

II 当第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	4,601,881	3,879,082	1,297,059	7,035,048	16,813,072	434,549	17,247,621	14,352	17,261,974
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	59,772	50,252	—	43,621	153,646	34,212	187,858	△187,858	—
計	4,661,654	3,929,334	1,297,059	7,078,670	16,966,719	468,761	17,435,480	△173,506	17,261,974
セグメント利益	153,205	254,290	59,862	470,707	938,066	5,328	943,395	△60,062	883,332

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2018年3月期 第1四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2017/3期		2018/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	6.8億円	20.2億円	3.3億円	25.0億円

2. 減価償却実施額

	2017/3期		2018/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	5.1億円	20.3億円	4.6億円	21.0億円

3. セグメント別売上高

	2017/3期		2018/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	47.1億円	182.8億円	46.0億円	195.0億円
製紙用薬品	40.9億円	162.0億円	38.7億円	195.0億円
電子材料	11.9億円	53.2億円	12.9億円	59.0億円
ローター	77.8億円	298.5億円	70.3億円	309.0億円
その他	4.5億円	16.8億円	4.3億円	17.0億円
調整額	0.4億円	0.2億円	0.1億円	-
合計	182.8億円	713.8億円	172.6億円	775.0億円

4. 海外売上高

	2017/3期		2018/3期	
	第1四半期(実績)		第1四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	39.3億円	21.6%	38.2億円	22.2%
欧州	36.1億円	19.7%	29.2億円	16.9%
アジア、オセアニア	31.0億円	17.0%	29.1億円	16.9%
合計	106.5億円	58.3%	96.6億円	56.0%